

東京都森林組合ニュース

第71号

杉のみち

そま

JForest 東京都森林組合

〒190-0182 東京都西多摩郡日の出町平井2759
TEL: 042-588-7963 FAX: 042-597-5263
info@tokyo-sinrin.com <https://www.tokyo-sinrin.com>
発行人: 木村康雄 発行所: 東京都森林組合 発行日: 令和8年1月
印刷所: 株式会社アートプレス

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
当組合は持続可能な開発目標(SDGs)に取り組んでいます。

謹賀新年

赤石岳山頂からの日の出

令和8年 年頭ご挨拶

代表理事
組合長 木村 康雄



謹んで新年のお慶びを申し上げます。

日頃より組合員の皆さま並びに関係各位におかれましては、当組合の業務運営につきまして特段のご支援、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年は、岩手県大船渡市をはじめ、全国各地で林野火災が発生した年でもありました。

昨年末には、青森東方沖を震源とするマグニチュード7.5を記録する地震が発生し、後発地震も危惧されることから、「北海道・三陸沖後発地震注意報」が発表され、特別な備えの注意喚起がなされたところであります。

被災されました方々に衷心よりお見舞い申し上げます。

そして、本年は東日本大震災から15年、熊本地震から10年という節目を迎え、改めて防災意識の向上に努めなければならないと考えております。

また、昨年は全国各地でクマの目撃情報や被害が例年以上に相次ぎ、特に山林を抱える八王子市をはじめ西多摩地区の各市町村にお住まいの皆さまにおかれましては、クマとの共生を強いられた生活を余儀なくされたのではないかと思料いたします。

さて当組合では、東京都が進める「森林循環促進に資する花粉対策事業」(主伐)、「森林再生事業」(間伐)、「森林経営効率化支援事業」(境界明確化)等の事業に対しこれからも積極的に関与してまいりますので、特段のご協力をお願い申し上げます。

一方、当組合では、組合員皆さまとの信頼関係をより一層強固なものにしつつ地域の特性を生かした森林整備を行い、加えて、少子高齢化などの問題にも対処しうる経営基盤の強化を図るために、全国の森林組合系統運動に呼応して、5か年に亘る第四次中期経営計画「ACTIVE-50」(令和3年度から令和7年度)を策定し、様々な課題の達成に向け、役職員が一丸となって取り組んでいるところであります。

今次中期経営計画「ACTIVE-50」は、令和8年3月31日をもって終了いたしますが、全国の森林組合系統運動に平仄を合わせるとともに、東京都の特性を生かした次期5か年の中期計画の策定を進めているところであります。

特に、気候変動、噴火・地震・豪雨等の自然災害や拡大化する林野火災等に対しての事業継続計画(BCP)については、安否確認はもとより、組合の存続を含めた、対策マニュアルの策定を優先的に進めなければならないと考えております。

更には、酷暑下での熱中症対策を始め、国の様々な労働施策に対応する意識醸成を行い、日々のK Y(危険予知)を確実に励行し、常に「安全第一」を旨とした施業や厳しい経営環境を乗り越えるために、自己研鑽に努め、「創意工夫」でこの難局を乗り越え、組合員の皆さまの負託に応えるための存在意義の発揚に向けて、組合運営に邁進してまいり所存でありますので、引き続きご厚誼を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、本年が組合員皆さま並びに関係各位の皆さまにとって幸多き素晴らしい年となりますようご祈念申しあげ、新年のご挨拶といたします。

令和8年 年頭御挨拶

全国森林組合連合会
代表理事会長

中 崎 和 久



年頭に当たり、謹んで新年のお慶びを申し上げます。

旧年中は、弊会の業務運営につきまして格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、政府においては、花粉症対策の一環として花粉の少ない森林への転換促進対策が推し進められております。森林組合系統と致しましても、系統運動「JForestビジョン2030」において、「伐って、使って、植えて、育てる」循環型林業の確立を掲げ、目標達成に向けて系統全体で主伐再造林に取り組むこととしており、再造林の低コスト化や苗木確保等の課題解決に取り組みながら花粉発生源対策と合わせて推進していく所存です。

一方、「植えて、育てる」ためには木を積極的に「使う」ことが重要であり、特に木材は建築物等に利用することで製造時のCO₂排出量が少なく済むことに加え、吸収したCO₂を長期間固定でき地球温暖化防止に貢献します。政府では令和7年10月1日より、森林資源を循環利用し全国で街の木造化を進める「『森の国・木の街』づくり宣言」の募集を開始しました。弊会においても宣言に賛同したところであり、今後多くの自治体や企業が建築物の木造化など木材利用の推進、木材利用の効果の見える化に取り組むことが期待されます。

また、2025年国際協同組合年において各地で取り組まれた協同組合間連携につきましては、昨年で終わらせることなく継続して推進していくことが重要です。SDGsの達成やカーボンニュートラル社会の実現等、社会課題の解決に向けた取組を「実践」し、広く「発信」しながら、森林組合系統の活動に対する社会の認知を高めるとともに、系統の更なる発展と「JForestビジョン2030」の実現を目指して参ります。

今後も、弊会では系統関係者及び関連団体とともに、役職員一同精進する所存です。倍旧の御指導、御協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、本年が皆様にとって幸多き一年となりますよう祈念申し上げ、新年の御挨拶といたします。

◆山の神安全祈願祭◆

森林は豊かな恵みをもたらす一方で、時として土砂災害やスギ花粉の飛散など、私たちに被害を及ぼします。その森林は、先人たちが自然への畏敬を忘れず、知恵を重ね様々な工夫の元に守り育て現代の私たちに引き継がれました。

そうした先人たちの思いを受け継ぎ、山仕事を行う当組合では、山に感謝し、施業の安全と地域の繁栄を願う「山の神安全祈願祭」を本年1月16日（金）に青梅市柚木町地内において、協力事業体及び関係団体とともに行いました。

※本来であれば、1月17日とされていますが、本年は当日が土曜日のため前日の16日に行いました。

また、「山の神安全祈願祭」開催場所につきましても6市町村（八王子市、青梅市、あきる野市、日の出町、檜原村、奥多摩町）において順番に実施しています。

今年1年、作業の安全と当組合及び地域の繁栄が叶いますように！

法務・税務相談会を開催いたしました

令和7年12月4日に組合員の皆さまを対象とした法務・税務相談会を当組合本所（日の出町）にて開催いたしました。

昨年度に引き続き当組合の顧問弁護士・波多野曜子先生をお招きし、山林に関する法務相談についてご対応いただきました。

今後も山林に関する不動産登記法改正に伴う内容や税制等の相談について、組合員の皆さまにご満足いただける法務・税務相談会として開催してまいります。



相談会の様子

各種大会への出席及び表彰

○第30回 JForest 全国森林組合大会

主 催：全国森林組合連合会

開 催 日：令和7年10月21日

開催場所：銀座プロッサム中央会館

「優良組合表彰」部門では当組合が、「功労者表彰（永年勤続）」部門では、森づくり推進部鶴巻次長と総務管理部志村和人が受賞いたしました。



第30回JForest全国森林組合大会 賞状・受賞記念品

○第61回 全国林材業労働災害防止大会

主 催：林業・木林製造業労働災害防止協会

開 催 日：令和7年11月21日

開催場所：山形テルサ テルサホール

「林災防会長賞（功労賞）」の部門で森づくり推進部鶴巻次長が受賞いたしました。

○東基連西多摩地区安全衛生大会

主 催：青梅労働基準監督署／（公社）東基連青梅労働基準協会支部／建設業労働災害防止協会東京支部西多摩分会／青梅地区プレス安全協議会

開 催 日：令和7年12月4日

開催場所：プリモホール「ゆとろぎ」小ホール

森づくり推進部鶴巻次長、堤調査役が出席し、労働災害防止の重要性についての認識をさらに深める機会となりました。



令和8年度 小池東京都知事への林業関係予算要望

東京都知事に対する予算要望に対するヒアリングが東京都庁第一本庁舎7階大会議室において開催され、令和8年度東京都林業関係予算要望書を11月20日、以下の9名で小池東京都知事に対し提出しました。

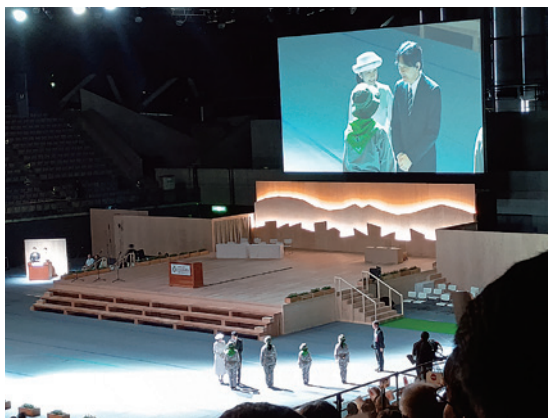
所属団体	氏名
東京都森林組合	木村組合長、山崎副組合長、 総務管理部：外川部長代理 総合企画部：塚本部長代理 森づくり推進部：大野部長 (東京都林業研究グループ連絡協議会会長)
東京都治山林道協会	清水専務理事
多摩木材センター協同組合	小澤理事長 (（一社）東京都森林協会会長)、 伊藤専務理事
東京都素材生産協同組合	塩野組合長



要望に当たり、木村組合長より森林整備関連8項目、林業・木材産業振興関連4項目のうち、森林整備関連から新規項目である「既設林道の抜本的な改良促進」、「東京の森林に適応した持続可能な林業機械の開発」の2点と、継続案件である「ツキノワグマ対策」の3点に絞って概要を説明し、併せて知事並びに関係局より要望に対する意見等をいただきました。

全国育樹祭 in 宮城

第48回全国育樹祭の式典が、秋篠宮皇嗣同妃両殿下をお迎えし、令和7年10月5日に宮城県宮城郡利府町にあるセキスイハイムスーパーアリーナにおきまして盛大に開催され、当組合からも木村組合長、富田理事、山内調査役の3名が参加いたしました。



本式典では「次世代へ みどりのかけ橋 森づくり」をテーマに、泉立山高等学校吹奏楽部による演奏、仙台育英学園高等学校書道部による書道パフォーマンスに始まり、メインテーマアトラクションでは寸劇により宮城県の海岸防災林や森林・林業の歴史に触れながら、森と海を守る人々の活動が紹介されました。また、東日本大震災を乗り越え、今と未来をつないでいく人々の想いを県内の中学生を中心に歌で表現しました。

皇嗣殿下からは先の東日本大震災に触れ、震災の教訓を広く伝承され森林を守り育てていく人々の思いが宮城の地から広がって行くことを祈念されました。

若い世代の様々な活動を見学して仙台の林業の歴史を知り、改めて木を植え育て使うことにより、豊かな日本の森林を次世代へ引き継いでいくことの大切さを感じました。

■ 都立多摩高等学校インターンシップ

令和7年11月6日～7日の2日間にわたり、当組合においてインターンシップを開催し、都立多摩高等学校1年生3人が参加しました。座学では、森林における基礎知識として日本国内はもとより、身近な多摩地域で育てられているスギ・ヒノキの見分け方を学び、現場においては間伐や枝打ち施業の体験を行いました。

加工所では、木材を使用した商品台を製作し、2日間での内容を無事終了することが出来ました。

参加された生徒さんからは、「木を伐るということは命がけの凄い仕事である事等とても貴重な体験であった。このような体験は、一生忘れないほどの感銘を受けた。」などのコメントをいただきました。



■ 日の出町立大久野中学校林業体験

毎年恒例となりました、日の出町立大久野中学校林業体験が、12月11日に開催されました。

当日は、日の出町大久野諏訪下橋南側の山林に生徒さんらが集合し、元気な挨拶で林業体験がスタートしました。作業体験に当たり、堤調査役より間伐施業の目的などを解説後、全員で木の伐倒に挑戦しました。その後3班に分かれ、丸太切り・チルホール（牽引機）との綱引き・大刈り（竹伐採）を順番に体験するプログラムとしました。

後日、生徒さんからは身近な森林の管理の大変さや間伐施業など貴重な体験ができたことに対するお礼の手紙をいただきました。

今回も生徒さんの心に残る学びとなっていれば幸いです。実施にあたり、体験の場を快くご提供いただきました和田様、大変ありがとうございました。





今年も枝打ち作業が始まりました

枝打ちとは、木にとっての「散髪」のような作業です。決められた高さまで幹から出ている枝を切り落とすことで、節の少ない、質の良い木材を育てることができます。

木の上部にある枝や葉が集まった部分は「樹冠^{じゅかん}」と呼ばれます。枝打ちは、この樹冠のボリュームを調整する作業でもあります。

いらぬ枝を落とすと、幹がまっすぐ育ちやすくなり、森の中にも日光がしっかり届くようになります。木も「明るくて気持ちいいな」と感じているかもしれません。

作業では、鉋^{なた}や鋸^{のこぎり}、小型のチェーンソーなどを使って枝を切ります。高いところで作業をするため、はしごや安全具もしっかり準備します。太い枝は下から、次に上からと幹に傷をつけないよう順番を守って切ります。

枝打ちは、いつでもできるわけではありません。一般的に春のお彼岸から秋のお彼岸までの期間は樹木の活動が盛んで、細胞が若く組織が弱い^なため、樹皮が剥けて傷つく可能性が高いため、作業はこの時期を避けて行います。

秋に葉が色づき始めてから、寒さがやわらいで新しい芽が出る前までが、枝打ちに適した季節となります。

今年も、立木が健全に成長し、森を元気にするため、枝打ち作業を進めてまいります。



フレア五日市で「とうきょうの木」を探そう

あきる野市が秋川流域の活力と創造力を満たす学習の場として、さまざまな人が集い、学び、憩う場所を提供し、地域の活性化を図るための施設「フレア五日市」が、令和7年7月に武蔵五日市駅前のロータリー沿いにオープンしました。

当組合では、当該施設内に「とうきょうの木」を使用した木製品を納品しましたので紹介いたします。

立て看板の板面には施設名「フレア五日市」を印字し、利用者や地域の方へ施設を広く知っていただけるデザインを採用しました。

また、「森のサイクルラック」とともに屋外に設置するため、防腐防蟻処理と保護塗料を塗布し、木材の耐久性を向上させるとともに、施設の外観と調和する色合いに仕上げています。



マグネット式の自立式立て看板

パンフレットラック・サインスタンドの材料は「とうきょうの木」桧を使用し、桧板の表面の色合いなどの良さを表現するため、クリア塗装を施しています。

武蔵五日市駅をご利用の際には、「とうきょうの木」がふんだんに使われたフレア五日市で木の温かみを感じていただければ幸いです。



パンフレットラック



サインスタンド

イベントレポート

市町施行周年記念 ゆるキャラ大活躍！

昨年2025年は、日の出町合併70周年・町制施行50周年、奥多摩町は町制施行70周年、あきる野市は市制施行30周年を記念する年となり、各産業祭では地域の節目となる中賑わいを見せました。

当組合では産業祭を盛り上げる一環として、また来場した記念として「ゆるキャラ」の木製小物製作・販売を行いました。



ひょっこりとキャラが覗き込んでいるようなコースターに、ディスプレイとしてもかわいいスマホスタンド、特に根付は、豊富なバリエーションと手ごろなサイズで好評をいただきました。

また、恒例の木工クラフトには「子供の頃ここで作ったよ!」と懐かしむ声もいただきました。



地域に根差した組合として、これからも地域間協力のもと東京の森林・林業の発展を目指してまいります。



東京都「相続等登記費用支援補助金及び同奨励金」 ～「山林」の相続登記費用等を原則全額支援します～



対象森林を相続又は遺言により所有する方が、司法書士等の専門家を活用して所有権移転登記を行うに当たり、都が必要な費用等を支援します。

〔補助金〕

補助率10／10（上限金額100万円）

※登録免許税・消費税等を除く・一部経費に上限あり。

※奨励金（最大20万円）が加算される場合があります。

〔対象となる方〕

- (1) 6市町村※に所在する「地域森林計画」の対象森林を相続又は遺贈により取得した個人
※八王子市、青梅市、あきる野市、日の出町、檜原村及び奥多摩町
- (2) 補助事業終了後、自治体等が実施する境界明確化等の取組をはじめとした森林循環の促進に向けた施策に積極的に協力する意思があること

なお、令和7年度は、都内在住の方を対象とします。

〔対象となる取組〕

- ・司法書士等の専門家に依頼して行う相続等登記の実施に向けた調査
- ・相続等登記のために作成された遺産分割協議書、相続登記等

【お問い合わせ先】

東京都産業労働局森林事務所
(相続等登記補助事業担当者)
電話：0428-78-3007

◎募集要項、申請様式はこちら



組合員の皆さまへ

【各種変更手続きについて】

「不動産登記法」の改正で、令和6年4月1日から相続により山林等の不動産を取得した場合は、3年以内に相続登記の申請が義務化されました。

不動産登記法の改正を踏まえ、次のような事例の場合、組合までご連絡をお願いいたします。

事例1:	組合員【名義人】が亡くなり相続が発生した
事例2:	組合への届出住所が転居により変更した
事例3:	売買等により所有山林の面積が増減した

変更届が提出されないと、組合からの重要なお知らせが届かなくなり、大切な所有山林の管理等に支障をきたす恐れがあります。

【森林保険について】

森林所有者を被保険者として、森林についての火災、気象災（風害、水害、雪害、干害、凍害、潮害）、噴火災による8つの損害を総合的に補償する保険です。激甚化・頻発化する気象災害に備えご検討ください。

各種お問い合わせ先電話番号

購買品・組合員手続・森林保険・賦課金等
総務管理部 ☎042-588-7963

森林整備・森林経営計画・境界明確化等
森づくり推進部 ☎042-503-1046

木材加工品・ホームページ・本誌等
総合企画部 ☎042-503-6586

2月～4月の組合関係行事（予定）

日付	行事	場所
2月 7日(土) ～ 8日(日)	山しごと体感フェスティバル	国営昭和記念公園・ゆめひろば
2月12日(木) ～13日(金)	WOODコレクション (モクコレ) 2026	東京ビッグサイト 西1・2ホール
2月17日(火)	木材利用部会	東京都森林組合本所
3月 5日(木)	第5回理事会	東京都森林組合本所
3月17日(火)	森林整備部会	東京都森林組合本所
3月31日(火)	棚卸・現物監査	東京都森林組合本所・各事業所
4月 1日(水)	令和8年度 事業進発式	東京都森林組合本所・各事業所
4月17日(金)	経営管理部会	東京都森林組合本所

原木市場だより
多摩木材センター協同組合(令和8年1月)

第3四半期における平均単価は、スギは1万円台を確保し、ヒノキについては、上半期同様2万円前後にとどまっています。ヒノキの柱材(3m、16～18cm)の平均単価は、2万2千円台となっており、上半期と比較して若干値を下げています。令和8年以降は、木材需要が伸び、それに伴い原木単価が上昇することを願うものであります。

(直近市売り実績)

区分	10月10日	10月27日	11月10日	11月25日	12月10日	12月25日
売上金額 (千円)	11,221	11,095	7,509	9,474	10,003	9,126
取扱量 (m ³)	876	848	605	747	716	701
平均単価 (円/m ³)	12,812	13,091	12,410	12,680	13,970	13,020

(直近市売りスギ・ヒノキの平均単価と取扱量)

区分	10月10日	10月27日	11月10日	11月25日	12月10日	12月25日
スギ (円/m ³)	10,261 506	10,802 556	10,012 406	11,121 456	11,182 373	10,009 346
ヒノキ (円/m ³)	18,333 306	21,291 217	21,319 143	18,559 207	20,153 264	18,909 271

(直近市売りのヒノキ3m良材、16・18cmの単価の推移 単位:円/m³)

10月10日	10月27日	11月10日	11月25日	12月10日	12月25日
27,604円	17,051円	26,449円	23,479円	23,275円	16,469円

編集後記

2025年は、地震・津波・台風・豪雨・火山噴火・森林火災が同時多発的に発生し、従来の災害対策だけでは対応が難しい状況が浮き彫りになったことを痛感させられた年でありました。また、熊の目撃情報も頻発し、当組合管轄地域において不幸にも人的被害が1件発生しました。

自然というフィールドを舞台に仕事をする当組合においても他人ごとではなく、今後は自然との共生も視野に入れた安全対策を関係団体と共に構築する必要があると感じました。

(K・K)